

集約化・提案型森林施業 かわら版

「ステップアップ研修」開催中！

今年度も4回のステップアップ研修を計画しています。第1回目が9月1日～4日の間、日吉町森林組合（京都府）において、9林業事業体等から31名が参加し実施されました。今年度から、都道府県や都道府県森林組合連合会の職員にも参加を呼びかけ、提案型施業への理解を深めて頂くとともに、一緒に参加した林業事業体のサポートをお願いしています。

初日は、提案型施業の進め方、地域森林管理の担い手としてのあるべき姿、日吉町森林組合のこれまでの取組などについて、講義がありました。

組織としてステップアップを図っていくために、経営管理者、森林施業プランナー、現場担当者、経理担当者が一体となり、同じ方向をむいて取り組むことが重要です。取組に当たっての課題等について整理し、お互い共通認識をもって取り組みましょう。



全国部会講師による講義



林業事業体毎に1日のふりかえり

2日目は、森林の目標林型と育林技術、施業の工程管理と見える化について、講義がありました。

午後から、施業完了後の現場や施業中の現場を見学後、それぞれのコース別研修となりました。

間伐では残存木に傷をつけないことは、当たり前のことです。森林所有者の信頼を裏切らないためにも技術を磨きましよう。



傷ついた箇所から腐朽



研修生の質問に答える職員

3日目は、作業システムと路網や作業システムと機械などについて講義があり、自らの実力に合わせてステップアップしていきましよう」と提案がありました。

午後は事業体毎に分かれて、地域森林の現状を踏まえた3年後の間伐事業量やその実施体制の目標を設定し、現状とのギャップを整理した上で、課題解決に向けた組織としてのアクションプランを作成しました。



アクションプラン（組織）の作成



アクションプランへの講師アドバイス

4日目は、前日作成したアクションプランを実行するために、それぞれの立場で「いつまでに」「何をやるか」個人毎のアクションプランをとりまとめ、真っ先に取り組むことについて全員が発表しました。

経営管理者からは中・長期事業計画の策定、プランナーからは施業現場のコスト分析、現場担当者からは日報等による作業実績の報告などについて取り組むとの発表がありました。



アクションプラン（個人）の検討・作成



アクションプランの発表

研修で策定したアクションプランをお互いが工程管理しながら、しっかり実践していきましょう。

実践体制基礎評価について

評価申請書受付中！

「かわら版 第22号」でもお知らせしましたが、提案型集約化施業の基本的なことが林業事業体等の組織内でしっかり取組がなされているかを評価する実践体制基礎評価が始まりました。

外部機関の評価を受けることで、自らが抱える課題を具体的に把握、改善することにより、提案型集約化施業の取組内容の質の向上を図ることが出来ます。是非、チャレンジして下さい。

申請の要件等に当たっては、提案型集約化施業ポータルサイトをご覧ください。

http://sv52.wadax.ne.jp/~shuuyakuka-com/ikusei/kiso_hyoka.html

専科コース(山田林業)実施される

9月7日～8日の2日間で開催された専科コース(山田林業)には、森林組合25名、林業事業者8名、県森連3名の計36名が参加。

山田林業(兵庫県)は、大橋慶三郎氏(大阪府指導林家)の指導を受けながら、所有山林において作業道を開設し、搬出間伐を行っている林業経営体です。

研修には、作業道の設計を行う森林施業プランナーに加え、現場責任者にも参加していただきました。

研修では、大橋氏より作業道開設におけるポイントを講義頂き、その後、山田林業所有林を見学しながら、「壊れない道づくり」をする上での留意点や排水処理など具体的な指導を頂きました。

研修生からは、充実した内容で、道づくりを進める上で大変参考になった。また、道づくりの作業現場も見学したかったなどの意見が出されました。



水の流路について説明する大橋氏



通勤にも使える作業道

モデル組合における地域実践研修(Ⅰ)終了!

全国12箇所のモデル組合で、7月～8月にかけて実施された地域実践研修(Ⅰ)が無事終了しました。

地域実践
研修(Ⅱ)

今年度で最後となる当研修は、受講者数が277名と過去3年間で最も多くなっています。

研修生は、11月以降開催される地域実践研修(Ⅱ)に向けて、自ら設定した施業団地の現況調査や見積書の作成などの宿題に取り組むこととなっています。関係者の皆様のサポートをお願いします。

香美森林組合(高知県)での研修の様子



提案型施業の取組に当たっての課題と解決策を討議



課題と解決策を発表

○平成21年度地域実践研修(Ⅰ)参加事業体数等

ブロック名	モデル組合	参加事業体数	受講者数	開催時期
北海道	上川北部	23	23	12月3～4日
東北A	釜石地方	23	30	11月10～11日
東北B	雄勝広域	11	22	11月9～10日
関東	多野東部	28	28	11月26～27日
中部A	中能登	18	19	12月10～11日
中部B	天竜	20	20	11月16～17日
近畿	松阪飯南	33	33	11月4～5日
中国・四国A	三次地方	15	21	11月16～17日
中国・四国B	いしづち	14	21	11月19～20日
中国・四国B	香美	23	38	12月1～2日
九州A	上球磨	8	8	11月26～27日
九州B	南那珂	8	14	11月19～20日
計		224	277	

注 北海道、広島において10月に開催予定の地域実践研修は含まない。

地域ブロック国産材安定供給協議会等の開催について

全国7ブロックにおいて、国産材安定供給体制整備に係る地域ブロック協議会と森林組合関係ブロック説明会が10月下旬から11月にかけて開催されます。

地域ブロック協議会では、原木安定供給の取組状況について、各都道府県協議会等からの報告と意見交換を予定しています。

また、森林組合関係ブロック説明会では、施業集約化・供給情報集積事業の取組状況などについて全国森林組合連合会及び林野庁より報告・意見交換を予定しています。

※上記の議事内容は予定であり、変更することがあります。

地域ブロック協議会開催場所、開催日

ブロック名	開催場所	開催月日
北海道	北海道	11月20日(金)
東北	宮城県	11月30日(月)
関東	茨城県	10月29日(木)
中部	静岡県	11月12日(木)
近畿	和歌山県	11月10日(火)
中国・四国	広島県	11月26日(木)
九州	熊本県	11月16日(月)

次のニュースレターの発行は11月上旬を予定しています。

<http://www.rinya.maff.go.jp/seisaku/sesakusyukai/syuyakuka/newsletter.html>

企画・発行: 林野庁林政部経営課 提案型施業推進事務局 TEL: 03-3501-3810/Fax: 03-3502-1649